

令和 6 年 2 月 2 1 日  
北 海 道 開 発 局

## 令和 5 年度わが村団体活動報告会を開催します！

### ～第 11 回コンクールの優秀賞 12 団体が活動内容を報告します～

北海道開発局が開催している「わが村は美しくー北海道」運動第 11 回コンクールにおいて、優秀賞を受賞した 12 団体の取組等を紹介する、わが村団体活動報告会を開催します。

第 11 回コンクールでは全道 56 市町村から 63 団体の応募があり、全道 10 のブロックごとの審査により、全部で 12 団体の優秀賞受賞が決定しました。（1 月 19 日に開発局 HP で公表）

この度、コンクール応募団体と情報交換を図り、当運動の更なる浸透と発展に資することを目的として、わが村団体活動報告会を開催します。

なお、今回表彰された優秀賞受賞団体の中から、来年度（令和 6 年度）の大賞審査により、第 11 回コンクールの大賞を決定します。

- 1 開催日時：令和 6 年 2 月 28 日（水）15：30～17：15
- 2 開催場所：TKP ガーデンシティ札幌駅前 5 階 カンファレンスルーム 5D+5E  
（札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 19 アパホテル TKP 札幌駅前内）
- 3 対 象：報道関係機関（一般の方は対象としておりません）
- 4 申込方法：取材を希望される方は、「別紙 3」の取材申込書によりメールまたは FAX で、  
2 月 26 日（月）までにお申し込み願います。
- 5 添付資料：【別紙 1】わが村団体活動報告会次第  
【別紙 2】活動報告団体（優秀賞受賞団体）紹介  
【別紙 3】取材申込書  
【別紙 4】「わが村は美しくー北海道」運動の概要について

#### 【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていこう、との思いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しています。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou\\_sin/ud49g7000000emhm.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html)



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

農業水産部 農業振興課 課長補佐 伊原 陽一（内線 5683）

農業水産部 農業振興課 農村振興第 2 係長 田場 一矢（内線 5685）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



# 令和5年度「わが村は美しくー北海道」運動 わが村団体活動報告会

- 日時 令和6年2月28日(水) 15:30 ～ 17:15  
○場所 TKPガーデンシティ札幌駅前 カンファレンスルーム5D+5E  
○主催 北海道開発局

## 次 第

### 1. 開会挨拶

北海道開発局 農業水産部長 日 置 秀 彦

### 2. 活動優良団体からの活動報告

- (1) 特定非営利活動法人 山のない北村の輝き（岩見沢市）
- (2) 元気村・夢の農村塾（深川市・妹背牛町・沼田町・北竜町・秩父別町）
- (3) にじいろファーム（七飯町） ※資料上映のみ
- (4) 美国・美しい海づくり協議会/余別・海HUGくみたい（積丹町）
- (5) 名寄市立大学援農ボランティアの会（名寄市）
- (6) ニサナイ大地の会（むかわ町） ※資料上映のみ
- (7) 北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班（中標津町）
- (8) 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会（帯広市）
- (9) ピロロツーリズム推進協議会（広尾町）
- (10) 合同会社 びほろ笑顔プロジェクト（美幌町）
- (11) フレッシュ市場「花菜夢」（遠別町）
- (12) 社会福祉法人稚内市社会福祉事業団 就労継続支援B型事業所 稚内市北光園（稚内市）

### 3. 講演 ～前回コンクールの受賞団体から～

- (1) ほんべつ豆まかナイト実行委員会（本別町）
- (2) 農猿（南幌町）
- (3) えづらファーム（遠軽町）

### 4. 閉会挨拶

NP0法人 わが村は美しくー北海道ネットワーク

理事長 中 井 和 子

## 受賞団体の活動概要（優秀賞）〔12団体〕

| ブロック | 団 体 名                                  | 市町村                               | 活 動 の 概 要                                                                                                                                                                                |
|------|----------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 札幌   | 特定非営利活動法人 山のない北村の輝き                    | 岩見沢市                              | 河川環境の維持や植樹活動のほか、農泊やキャンプをしながら収穫などの農作業を体験できる企画のほか、自然景観を堪能できるカヌー体験やガイドによる北村地域の歴史見学を行っており、地域内外での交流を図っている。また、「北村の歴史ガイドブック」や「北村三兄弟物語」といった北村の歴史に関する副読本も作成しており、今後は歴史ガイドツアーへの活用も予定している。           |
|      | 元気村・夢の農村塾                              | 深川市<br>妹背牛町<br>沼田町<br>北竜町<br>秩父別町 | 都市部の人との交流を通して、農業・農村の理解者を増やしたいとの思いから平成14年3月に設立。主に道外の修学旅行生を1泊2日の日程で会員宅に受け入れ、収穫作業や草取り、トラクターの乗車体験など、農業に関する作業体験を実施している。20年間の活動で受入人数は1万7千人以上となっている。将来を担う子供たちに食農教育の場を提供している。                    |
| 函館   | にじいろファーム                               | 七飯町                               | 令和2年に新規就農。地元農家約30軒と協力して山菜、果物などを含めて年間約150種類を販売する直売所を経営する。次世代に農業のすばらしさを伝えるため、修学旅行生の農業体験を受け入れ、地元中学生の職場体験も実施。就労支援事業所と農福連携にも取り組んでいる。                                                          |
| 小樽   | 美国・美しい海づくり協議会<br>/余別・海HUGくみたい          | 積丹町                               | 町の基幹産業であるウニの生産は、磯焼けにより生産が減少している。ウニ殻を利用した「ウニと藻場の循環型再生産の取組」を推進し、藻場のブルーカーボン機能による気候変動対策と組み合わせている。また、環境保全と連携した民間企業との取組や、新たな商品開発による産業創設などを推進している。                                              |
| 旭川   | 名寄市立大学援農ボランティアの会                       | 名寄市                               | 名寄市立大学、JA道北なよろ及び名寄市の三者で設立した名寄市立大学援農ボランティアの会は、従来は長靴等を自ら用意するなどのハードルにより農業アルバイトへの学生の応募が少なかったものを、備品の貸出や就業条件の統一を行い、有償でもボランティアであるとの農家と学生双方の理解を深め、受入農家の丁寧な対応による満足感が生まれるなど、学生の参加を促すための環境作りを行っている。 |
| 室蘭   | ニサナイ大地の会                               | むかわ町                              | 地域の花壇整備をはじめ、隣接する道道沿いの農地周辺の草刈りや清掃など地域の美化に取り組むとともに、地域コミュニケーションを図っている。直売所の位置を入れたニサナイマップを作成・配布することにより地域をPRする取組や、エソフクロウを守るために巣箱を設置する取組も行っている。                                                 |
| 釧路   | 北海道中標津農業高等学校<br>マネージメント研究班             | 中標津町                              | 町の基幹産業が農業である一方、町民が農業に良いイメージを持っていないことや後継者不足で農家数が減少している現状を打開するため、幼少期から食の大切さを学び農業が将来の選択肢の1つとなるよう、高校生が先生となり幼稚園から中学生に野菜栽培、牛舎管理等の食農教育を展開している。                                                  |
| 帯広   | 北海道帯広農業高等学校<br>食品科学科 地域資源活用分会          | 帯広市                               | 農業高校の生徒が十勝産食材を用いて、高校生初の試みとなる「レトルト」の宇宙日本食開発にJAXAや地元企業と連携して取り組んでいる。今後も成長・拡大が想定される「宇宙産業」において、十勝産食材を使用した宇宙日本食を開発することで、宇宙産業と融合した十勝農業のPRを目指している。                                               |
|      | ピロソーツリズム推進協議会                          | 広尾町                               | 広尾町の多様な一次産業と農山漁村空間が織りなす景観を活用した体験型観光の開発と運用、広尾産の食材を活かした特産品の開発とプロモーション、地域ガイドブックの企画と販売など多岐にわたる活動を展開している。特に体験型観光は、町内外の交流人口を増加させるとともに広尾町のPRに繋がっている。                                            |
| 網走   | 合同会社 ひほろ笑顔プロジェクト                       | 美幌町                               | ひほろブランドの発酵調味料「美幌豚醤まるまんま」を使用した加工食品の製造を通じ、原料となるトマト、唐辛子の栽培を、就労型多機能事業所に委託するなど、農福商工連携への取組が広がっている。町内小学校では毎年、製品開発に携わる高校生と地域学習の授業を実施するなど、食育による人の交流にも積極的に関わっている。                                  |
| 留萌   | フレッシュ市場「花菜夢」                           | 遠別町                               | 北限の稲作地であり、畑作地である遠別町で育てたおいしい農産物を多くの方に知っていただき、遠別町の農産物をより多くのところで消費していただくことを目的に、直売所「フレッシュ市場 花菜夢」を開設。また、農産物は低農薬で手間隙をかけ大切に育て、その日の朝に収穫した一番おいしい状態で「安全・安心」を基本理念に、農産物を提供し、多くの消費者に受け入れられるよう進めている。   |
| 稚内   | 社会福祉法人稚内市社会福祉事業団<br>就労継続支援B型事業所 稚内市北光園 | 稚内市                               | 福祉施設屋内に通年で水耕栽培装置を稼働させる工場を設置し、寒冷地の宗谷では珍しいフリルレタスの栽培を実施。栽培されたフリルレタスは「最北の野菜 工場ひかり菜」のブランドで市内スーパー等に出荷され高評価を得るなど農福連携に資する活動を行っている。                                                               |



体験農場での収穫体験

## 「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 特定非営利活動法人 山のない北村の輝き 【岩見沢市】

～ いつまでも大切な故郷 ～

### 【はじめは？】

地域住民に対して地域のまちづくりのため、旧美唄川の「水辺の楽校」を拠点として、地域の風土を学び、適正な河川利用と環境の保全、地場産業の活性化などに地域住民の声を反映させるなど、よりよい「まちづくり」の創造と国土の保全に寄与することや、市町村合併等により人口減があっても、「北村地域に何かを残したい」、「子供たちが大きくなった時に帰ってきたいと思えるような故郷にしたい」との思いから、平成16年にNPO法人として発足して活動を行っています。

### 【おもな活動】

河川環境の維持や植樹の活動のほか、農泊やキャンプをしながら農作業や収穫などを体験できる企画や、自然景観を堪能できるカヌー体験などのツアー、ガイドによる北村地域の歴史見学の実施などにより、地域内外での交流を図っています。

また、「北村の歴史ガイドブック」や「北村三兄弟物語」といった北村の歴史に関する副読本を作成しており、歴史ガイドツアーにも活用していく予定です。



石川啄木の碑  
(北村豊里)



北村三兄弟物語

### 【ここが自慢】

農場での収穫や発送といった農作業の体験、地元の食材を使った伝統料理の調理や試食、わら細工の作成体験のほか、植樹と歴史見学を組み合わせたツアー、雁里沼でのカヌー体験、冬には広大な雪原をウォーキングするスノーシュー体験やわかさぎ釣り体験等、季節に関係なく楽しんでもらえる体験メニューが盛りだくさんです！



植樹&歴史見学ツアー



カヌー体験

### 連絡先

代 表 者 名 : 石黒武美さん／設立 : H16年／会員48名

住 所 :

電 話 番 号 :

F A X :

E-mail :

U R L :





優秀賞

深川市  
妹背牛町  
沼田町  
北竜町  
秩父別町



コロナ禍期間中の受入風景（ハロウィン用のランタン作り）

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体  
元気村・夢の農村塾  
【深川市、妹背牛町、沼田町、北竜町、秩父別町】  
～ 出会いは人生の種まき ～

## 【はじまりは？】

都市部の人との交流をととして、農業・農村の理解者を増やすことを目的にして平成14年3月に設立し、自分たち自身も夢を持つことができるように「夢の農村塾」と名付けました。

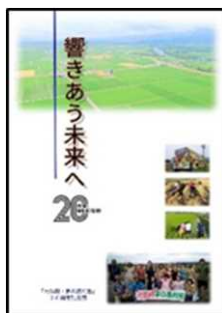
初代塾長のモットーである「出会いは人生の種まき」、「一期一会」という言葉を基本理念に活動を行っています。

道外の都市部から来る子供たちにとって、短い期間であっても、北海道の田舎での生活は異文化体験であり、私たちとの交流が一期一会であるからこそ、出会いと過ごす時間を大切にしたいと思っています。

## 【おもな活動】

主に修学旅行で来道する道外の高校生を対象に20年以上にわたり農業体験の受入れを行っており、1泊2日でのファームステイのほか、2泊3日や日帰りでの受入れも行っています。

体験内容としては、農作物の収穫や草取り、トラクター乗車体験といった農業に関わる作業のほか、会員個々も工夫を凝らして、蕎麦打ちや豆腐作りといった農作業以外の体験メニューも行っており、食事も自家野菜やお米を使って一緒に料理することで、手作りの美味しさや作る喜びを実感してもらっています。



記念誌  
(20周年記念)

## 【ここが自慢】

農業体験といっても、水稻や畑作以外に果樹園を経営している会員もあり、非常にバラエティーに富んだ体験をすることができます。

また、会員宅に宿泊しての農業体験となるので、みんなで一緒に畑から野菜を収穫してご飯を作ったり、都会では見ることのできない満天の星空を鑑賞したりと、一期一会の出会いや時間を大切にしています。

一生の思い出を作れるようにと受入活動を行ってきた結果、20年以上の活動期間で1万7千人以上の方々に農業体験をしていただいていたいて、最近では海外から来る方にも体験をしていただいています。



20周年記念誌  
からの抜粋

### 連絡先

代表者名：村上はるみさん／設立：平成14年／会員：23名

住所：

電話番号：

F A X：

E-mail：

U R L：



新鮮野菜と笑顔でお待ちしています

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

にじいろファーム

【七飯町】

農業のすばらしさ、楽しさ、やりがいを伝えたい！

## 【はじまりは？】

家庭菜園をきっかけに野菜作りに魅力を感じ、もっといろいろな野菜を作って、たくさんの人に食べてもらいたいと思うようになり、新規就農を目指しました。相談した町役場から紹介を受けた農家さんの元で研修を受けて2020年4月に独立、「にじのように色とりどりの新鮮な美味しい野菜を皆様にお届けしたい！」という思いから名前を「にじいろファーム」にしました。

## 【おもな活動】

自分たちの農園では、七飯町を代表する白かぶ、人参、大根、長ネギを含めた約40品目の野菜を栽培しています。

毎年全国各地から修学旅行生の農業体験を受け入れています。次世代の子どもたちに七飯町の農業の魅力を伝えるため、地元中学生の職場体験も実施しています。

就労支援事業所と農福連携にも取り組んでおり、農業に携わることで少しでもやりがい、生きがいを感じてくれたら良いと思っています。



修学旅行生の「白かぶ」収穫体験

## 【ここが自慢】

【美味しい食べ方をご紹介します】

直売所では農家約30軒と協力して山菜、果物などを含めて年間約150種類を販売しています。時期や収穫状況に応じて野菜の詰め放題も楽しめます。

近郊で開催されるイベントにも積極的に参加して、お客さんとの会話を大事にしています。

ちょっと珍しい野菜の紹介や食べ方のレシピなどで、より七飯の野菜の魅力を知ってもらうため、店内にはポップを作っています。



店内いっぱい新鮮野菜が並ぶ

## 連絡先

代表者名：西山健児さん／設立：2020年／会員：50名

住所：北海道亀田郡七飯町桜町37-1

電話番号：070-4002-5623（営業期間中のみ）

FAX：

E-mail：

URL：<https://www.facebook.com/nijiirofarm.4783/>





優秀賞



積丹町



対照区



設置区



B級品



極上品

藻場造成の経済効果 対照区(磯焼け漁場)と設置区(再生藻場)のウニの实の状态

## 「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 美国・美しい海づくり協議会／余別・海HUGくみたい 【積丹町】

### ウニから始まるSDGs～ウニと藻場の循環型再生産システムの実践

#### 【はじまりは？】

積丹町では、町の特産品であるウニが、磯焼け現象により減少していました。積丹町の漁業者で構成されている当組織は、ウニの生産量の減少を食い止めることを目的に、海の森づくり（ホソメコンブの藻場造成）を平成21年度から開始しました。

#### 【おもな活動】

当組織は、ウニの安定生産・供給のため、ウニの餌となるホソメコンブの養殖や廃棄物であるウニ殻を施肥材として利用した藻場再生により、持続可能な漁業を推進しています。

また、水産と畜産の連携の取組として、町内の農業法人が飼育する羊の餌に養殖コンブを与えることで、肉質を向上させたり、積丹町地域活性化協議会が行う海藻などの水産物を利用した商品開発にも協力しています。

漁業と環境保全の理解増進のため、地元の小学生を対象とした体験学習や、町内外の小学生や都市部の一般市民を対象としたセミナーを開催し、これらに用いるプロモーション動画の作成も行っています。



コンブの餌を食べる  
「しおかぜ羊」



漁業への理解増進活動  
(ウニ養殖見学会)

#### 【ここが自慢】

ウニ殻肥料による海の森づくりで藻場が再生され、その藻場で育ったウニを漁獲するという「ウニと藻場の循環型再生産」が実現し、ウニの生産量と品質が向上するとともに、SDGsの目標達成にも寄与しています。藻場の保全・創造は、二酸化炭素の吸収源となるため、当組織は「ブルーカーボンクレジット」の取引を行い、得られた資金を藻場造成の拡大に利用することを計画しています。

積丹町では、これらの活動により、「自然、人、産業の和で築くまち」を目指しています。



ウニ殻肥料づくり



ホソメコンブの収穫作業

#### 連絡先

代表者名：白川 浩治さん 澤 貴幸さん／設立：2008年／会員：123名

住所：積丹郡積丹町大字美国町字船濶48番地5

電話番号：0135-44-3382

F A X：0135-44-2125

E-mail：nourin@town.shakotan.lg.jp

U R L：



参加認定証交付式の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

名寄市立大学援農ボランティアの会

【名寄市】

名寄ならではの環境で農作業＋αの経験・体験を

## 【はじまりは？】

名寄市の農業は、もち米、アスパラ、スイートコーンなど、全国でも有数の生産量を誇る作物が多くありますが、近年は農業従事者の高齢化やパート作業員の不足が進み、特産物の生産を維持することが難しくなっています。また、名寄市には保健医療福祉の専門職を養成する名寄市立大学がありますが、農業との接点は少なく、学生に向けて農業アルバイトを募集しても応募が無いような関係性でした。

そこで単なる農業アルバイトではなく、学生と農業のつながりを作り出せるような取組が必要だと感じ、大学や農協、市の担当者が集まって話し合いを重ね、その結果、食農教育という学びも含めた援農ボランティア活動とすれば、お互いにとって有益な関係性を作ることができるのではないかと考え、協力して組織(環境)作りを行うことになりました。

## 【おもな活動】

学生が援農有償ボランティアとして農作業に従事するための環境作りが主な活動です。

学生が普段行っているアルバイトと農業アルバイトはかなり環境が異なるため、その差を埋めるための工夫を行っています。例えば、作業に必要な道具(長靴や雨具など)の貸出や参加条件の統一(有償水準や休憩、送迎など)です。

そのほか、学生の募集は名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター、農家の募集はJA道北なよろ、貸出品の資金拠出は名寄市とJA道北なよろが担当するなど、各団体が分担して活動を行っています。



収穫作業の様子

## 【ここが自慢】

農業アルバイトは主にお金を通じた関係となり、農家にとっては不慣れな学生を高めの賃金で雇うことになり、学生にとってはそこそこの賃金で大変な外作業を行うこととなります。逆に無償ボランティアは心の報酬だけとなり、農家は繁忙期に多くのコミュニケーションを取る必要があり、受入農家も参加する学生も限られます。

そこで本活動では、「有償」援農ボランティアとすることで、双方のバランスを取っています。

農家は賃金に加えて食農教育の機会(経験や交流)を提供することで、学生は賃金以上の報酬を得ることができるため、参加者も安定して確保できています。

現在では毎年20戸以上の農家に延べ人数で70名以上の学生が参加しているほか、事業終了後に農業アルバイトとして直接雇用されている学生も多数いることから、学生と農家の相互理解が進展しています。

卒業後は名寄市外へ就職する学生が多いため、将来、名寄の農業・北海道の農業・日本の農業の良き理解者・支援者となってくれることを期待しています。

## 連絡先

代 表 者 名 : 今野 聖士さん/設立: 2017年/会員: 60名

住 所 : 北海道名寄市西四条北8丁目1  
名寄市立大学 教養教育部 今野研究室

電 話 番 号 : 01654-2-4194

F A X : 01654-3-3354

E - m a i l : m-konno@nayoro.ac.jp

U R L :





優秀賞

むかわ町



地域のこれからについての話し合いの様子

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

ニサナイ大地の会

【むかわ町】

若い世代が将来も地域を担っていける姿を目指す

## 【はじまりは？】

農業の担い手対策が必要な地区などをモデル地域に選定して、5、10年後の地域農業について検討を重ねながら農業を核とした支え合う地域づくりを段階的に推進するという、町の「地域づくりモデル事業」に呼応したのがきっかけで発足しました。

はじめに会員みんなで話し合いを行い、地域が目指す未来予想図としてのニサナイビジョンを作成し、話し合いの中で前期（今すぐ）、中期（5年以内）、後期（将来）に分け、いまできることから取組を進めています。

## 【おもな活動】

ニサナイ地区の環境美化から取組を進めており、周辺清掃や花壇整備をはじめ、隣接する道道沿いの農地周辺の草刈りや清掃など地域の美化を進めています。そのほか、直売所や穂別地域内の博物館やキャンプ場等でニサナイマップを配布することにより地域をPRする取組やエゾフクロウを守るために巣箱を設置する取組も行っています。

また、ニサナイビジョン構想は各層（経営主・女性・青年）で役割分担し話し合っており、地域でとれる農産物を使った加工品開発や、講師を招いての勉強会の開催について検討を行っています。

会員が運営する直売所では、地域で採れた新鮮な野菜や珍しい野菜等の販売を行っています。



ニサナイ会館前の花壇整備

## 【ここが自慢】

### 【自然環境の復活を目指して】

「ニサナイ大地の会」では、ニサナイビジョンを作成し、地区環境美化をはじめとする活動により、今後、他の地域にも波及することを願い活動を展開しています。

景観・自然環境では、ニサナイ地区と隣接する道道沿いの圃場周辺の草刈、清掃の取組を実施しています。

ニサナイ会館（ニサナイ大地の会活動拠点）などの周辺清掃、花壇整備の取組を実施し環境美化に取り組むとともに、自然環境の維持を目指し「エゾフクロウ（森の守り神）が営巣できる自然環境」を後世に繋いで行くため、巣箱を設置する取組を実施しています。



フクロウの木工品と巣箱設置の様子

### 連絡先

代 表 者 名 : 中澤 浩さん／設立：平成28年／会員：25名

住 所 : 勇払郡むかわ町穂別451番地3

電 話 番 号 : 0145-45-3306

F A X : 0145-45-3310

E-mail :

U R L :



かぼちゃランタンプロジェクト

## 「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班

### 【中標津町】

農業高校生が先生として町の子どもたちへの食農教育を推進！

#### 【はじまりは？】

「食料生産基地の中標津町で育ち、農業と食を学ぶ私たちにできることはないだろうか？」という生徒の意見から始まった計根別食育学校は、今年で18年目を迎えました。

「幼少期から継続的に農業に触れ、農業と食の大切さを学んでもらうこと」「活動を通して自分が食農教育の大切さを確認すること」の2点を目標とする食農教育に取り組んでいます。

#### 【おもな活動】

地域の幼稚園、義務教育学校と連携を図り、計根別地域の全ての子どもたちを対象とした食農教育を展開しています。幼稚園、小学部、中学部と学ぶ学年に合わせ、畑作や酪農、食品加工など幅広い分野から「農業」に向き合うことができる活動となっており、この活動をきっかけに農業に興味を持ち、本校に入学してくる生徒も増えてきました。



エゾシカ肉の加工



酪農体験

#### 【ここが自慢】

地域住民の「小さな地区に大きなイベントを」という声に応え、計根別地域全体をハロウィンカボチャで飾りつける「かぼちゃランタンプロジェクト」を毎年実施しています。

この取組に使用するカボチャの栽培には、地域内で耕作が放棄されている畑を使用しており、農地の有効利用と地域の景観整備にもつながる活動となっています。



耕作放棄地の活用

#### 連絡先

代表者名：篠原 圭さん／設立：2006年／会員：13名

住所：標津郡中標津町計根別南2条西1丁目1番地1

電話番号：0153-78-2053

FAX：0153-78-2465

E-mail：nagri-gyomu@ed.nakashibetsu.jp

URL：https://www.nakashibetsu.jp/nagri/





帯広市



「十勝をPRできる宇宙日本食」を開発します

## 「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会 【帯広市】

十勝の新たな産業である宇宙産業と十勝農業との融合を目指して

### 【はじまりは？】

2021年4月に十勝の大樹町が中心となり、地域と宇宙を繋ぐ「北海道スペースポート」構想が本格的に稼働しました。JAXA及び宇宙食開発実績のある地元企業から「宇宙日本食」開発の誘いを受け、私たちは食を学ぶ農業高校生として、最高レベルの品質管理が求められる宇宙日本食開発の取組を始めるとともに、十勝産原料にこだわることで、宇宙日本食をとおして十勝農業のPRを目指します。

### 【おもな活動】

- 宇宙日本食開発の取組経緯は以下のとおり
- ・2022年度：外部連携の確立と宇宙食レシピの完成  
初年度は、外部連携する企業や団体を確立して活動の基盤づくりを行いました。また、宇宙食レシピ「クリームシチュー」を完成させました。
  - ・2023年度：工場での宇宙食製造と保存試験開始  
工場での製造に向けて殺菌方法を確立し、1年6ヶ月の保存試験を開始しました。その間、宇宙日本食審査に向けての資料作成を行いました。
  - ・2024年度以降：宇宙食の審査と製品提供  
審査に向けた対応とともに製品普及のためのPR活動を行います。審査の結果、宇宙日本食の認証を得ましたら、宇宙ミッションに製品を提供します。



連携企業等との会議

### 【ここが自慢】

#### 【高校生が作る宇宙日本食を宇宙へ】

私たちは、最高レベルの品質管理が求められる宇宙食の開発、また、スペースポートの訪問や宇宙サミット等の会議の参加をとおして新規ビジネス機会の創出、SDGsへの貢献への期待の大きさを再確認しました。

試算では、2040年に110兆円まで拡大する宇宙産業に、次代を担う私たち高校生が参入する意義は大きいと考えています。

地域企業やJAXAの協力を得て必ず開発している宇宙日本食を宇宙に届けます。

私たちの「OBINOH Space Food Project」は宇宙に向けて着実に進んでいます。

#### 連絡先

代表者名：佐藤 裕二さん／設立：2021年／会員：14名

住所：北海道帯広市稲田町西1線9番地

電話番号：0155-48-2102

FAX：0155-48-3052

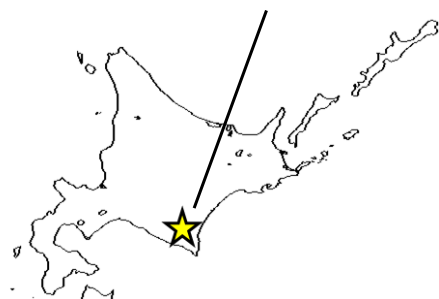
E-mail：kyo-114go2@hokkaido-c.ed.jp

URL：





広尾町



広尾町を訪問した全ての人に自然や産業を楽しんでもらいたい

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

ピロロツーリズム推進協議会

【広尾町】

広尾町の一次産業・景観の魅力を体験型観光により提供

## 【はじまりは？】

「広尾町の魅力を伝えるために何かできないか？」との思いを共有するメンバーで、令和元年にピロロツーリズム推進協議会を立ち上げました。

酪農と漁業と林業の一次産業を繋ぎ、体験型観光や地域の海産物を使った商品開発などを通じて広尾町の魅力を伝え、みんなが広尾町に来たくなるきっかけづくりをしています。

## 【おもな活動】

ピロロツーリズム推進協議会では、一次産業や景観資源を活用した体験型観光プログラムの企画・運営を活動の軸とし、広尾町産食材を活かした特産品開発及びプロモーション、ワークショップの企画・運営のほか、地域ガイドブックの作成など、多様な取組を行っています。

- ・酪農・漁業・林業体験
- ・地域特産品の開発（サンタのつぶやき、星屑昆布）
- ・地域ガイドブック（PIRUY＜ピルイ＞）の作成
- ・体験型観光でのワークショップ



サンタのつぶやきの販売

※「サンタのつぶやき」とは、たこ焼きの具材を広尾産の「つぶ」に置き換えた商品

## 【ここが自慢】

【広尾町には多くの“魅力”があります】

体験型観光や特産品開発をはじめ、漁業に関わる一連の取組が評価され、第28回 全国青年・女性漁業者交流大会、第5分科会「多面的・環境保全部門」で農林水産大臣賞を受賞しました。

広尾町には、日高山脈が織りなす景観や多様な一次産業といった地域資源が存在しています。広尾町の魅力を多くの人に伝えるために、これからも活動を展開していきます。協議会の活動がきっかけで広尾町への移住にまで繋がれば嬉しいです。



漁業体験（体験ツアー）



星空鑑賞（体験ツアー）

## 連絡先

代表者名：菊地 亜希さん／設立：2019年／会員：7名

住所：北海道広尾郡広尾町字野塚989番地

電話番号：

F A X：

E-mail：pirorokikaku@gmail.com

U R L：https://pirorokikaku.com/



地元産野菜を使用した発酵調味料で地域おこし

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

合同会社 びほろ笑顔プロジェクト

【美幌町】

美幌町を笑顔あふれる元気なまちに！

## 【はじまりは？】

平成21年5月に美幌商工会議所が「交流人口を増やし、まちの活性化につながる特産品を開発したい」との呼び掛けに、飲食店、精肉卸、自治体、農家、また若手経営者、更には「まちを元気にしたい！」と高校生も集まり、発足した美幌ブランド開発検討委員会の有志が24年5月に設立。高校生も社員に加わり、わが故郷「美幌町を笑顔溢れるまちに！」と活動を始めました。

「豚から広がる・モノづくり・まちづくり・ヒトづくり」を企業理念として、美幌産豚肉を活用した特産品づくりやイベント等への出店から始まった地域おこしの取組は、10年を経過した今、活動は食育、農福商工連携へと発展し、美幌町のPRと活性化を目指した企業運営を続けています。

## 【おもな活動】

「美幌豚醬まるまんま」の製造・販売以降、豚醬を味付けに利用した新製品を次々と開発しています。原料となるトマト、唐辛子の栽培を就労型多機能事業所「ワークセンターぴぽろ」に委託するなど、農福商工連携への取組も広がっています。

町内の旭小学校では毎年、製品開発に携わる高校生と食育の授業を実施しています。



小学校での食育授業

## 【ここが自慢】

美幌産の豚を使用した豚醬の製造販売から始まった6次産業化は、農福連携で生産したトマトやなんばん等の地元産野菜を使用し付加価値を上げた発酵調味料の製品開発へと続いており、生協やギフトショップでの販売からふるさと納税の返礼品としても採用され、美幌を代表する特産品「美幌ブランド」として好評を得ています。

10年を超える活動の中で、小学校で食育授業を受けた子どもが、高校生になって小学生に授業を行うといった地域内交流が生まれています。高校生と開発した商品は町内外のイベントに出品し、製品開発から消費者との交流まで経験させることができました。



美幌高校生との商品開発

## 連絡先

代表者名：横山清美さん／設立：H24年／会員：25名

住所：網走郡美幌町字大通北1丁目

電話番号：0152-73-0880

FAX：0152-73-0880

E-mail：masami.o0321@gmail.com

URL：<https://bihoroegao.com>





優秀賞



直売会の様子（新鮮野菜・鉢花求めて大盛況）

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

フレッシュ市場「花菜夢」

【遠別町】

販売活動を通して生産者と消費者の交流「遠別の農産物をPR」

### 【はじまりは？】

「遠別の農産物のおいしさを町内・外の方に知っていただくことや、農産物の価格・消費の低迷による個人所得の減少」などが続き「私たちにも何かできることはないだろうか？」とみんなで話し合った結果、JAの女性部の取組の一環として「安全・安心なおいしい農産物の提供」を目的に平成14年から開始しました。道の駅「えんべつ富士見」の一角でスタート、それから22年を経て現在ではすっかり定着し、遠別の農産物・遠別町のPRはもとより、令和2年4月にリニューアルオープンした道の駅「えんべつ富士見」の集客に貢献しています。

### 【おもな活動】

フレッシュ市場「花菜夢」は6月中旬から10月中旬にかけて、生産者が朝、収穫したばかりの新鮮野菜や花などを道の駅「えんべつ富士見」の一角で直売しており、消費者の立場に立った低価格で提供しています。平成18年からは、町内の小中学校・幼児センターに給食を供給する「遠別町給食センター」へ農産物の提供を行っており、地産地消の取組にも一役買っており、平成19年からは「Aコープえんべつ」で「もぎたて市」を開始したほか、札幌市などで開催される各種フェスタにも積極的に参加し、遠別町のPRにも繋がっています。

### 【ここが自慢】

フレッシュ市場「花菜夢」は令和5年で22年が経ち、売上実績も当初に比べて、約7倍程度と飛躍的に伸びています。今後も農産加工・流通・ブランド化など6次産業化も踏まえ、事業に取り組むとともに、消費者の方に「安全・安心」して購入していただけるよう農産物の管理を徹底し、町内・外の多くの方に「遠別産農産物」を食していただけるよう、頑張っていきたいです。



花菜夢メンバー

#### 連絡先

代表者名：松澤 米子さん／設立：2002年／会員：17名

住所：天塩郡遠別町字久光1023番地

電話番号：01632-7-3596

FAX：01632-7-3596

E-mail：

URL：



屋内完全閉鎖型水耕栽培により生産されるフリルレタス

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体  
社会福祉法人稚内市社会福祉事業団 就労継続支援B型事業所 稚内市北光園  
【稚内市】

「最北の野菜工場 ひかり菜」でフリルレタスを栽培

### 【はじまりは？】

就労継続支援施設が通所形式になったことを契機に、園舎未使用部分の有効活用と通所利用者の工賃向上を目的として、平成29年から通年栽培が可能な屋内完全閉鎖型水耕栽培を開始しました。



毎日、栽培管理と360株ほどの収穫作業に従事

### 【おもな活動】

障害や年齢、体力等の理由から企業等で働くことが困難な方が自分のペースで働くことができる「農福連携」の取組を実践しています。

工場では5台の栽培装置を稼働させ、全自動管理システムにより液肥を制御し、24時間体制で年間9トンのフリルレタスを収穫しています。

徹底した衛生管理により無菌状態を保持し、約2週間日持ちがするので消費者からも好評です。

また、取引のある百貨店で年に数回試食販売会を実施しており、通所利用者及び職員のモチベーションアップにつながっています。



試食販売会の実施

### 【ここが自慢】

#### 【新鮮で安心・安全な無農薬野菜を供給】

食の安全や環境保全に取り組む工場に与えられるJGAP認証を宗谷管内で初めて取得しました。

稚内市のみならず、浜頓別町や幌延町、利尻・礼文まで販路を拡大し、最北の地で新鮮な無農薬野菜を提供しています。



最近では同業の福祉施設をはじめ、養護学校、自治体や企業からの視察が増えています。

事業所利用者の一層の自立に向け、事業を展開していきます。



ロゴマークをラッピングした配達用車両

### 連絡先

代表者名：満保 和吉さん／設立：2011年／会員：40名

住所：稚内市富士見5丁目1179番地の1

電話番号：0162-28-1224

FAX：0162-28-1226

E-mail：w-hokkouenn-1224-sinnsyou@yellow.plala.or.jp

URL：http://www.wakkanai-fukusijigyodan.com



## 【別紙 3】

<取材申込先>

国土交通省北海道開発局農業水産部農業振興課 宛

(E-mail) hkd-ky-wagamura. u@gxb. mlit. go. jp

(FAX) 011-709-2145

### 取 材 申 込 書

『令和5年度「わが村は美しくー北海道」運動 わが村団体活動団体報告会』の取材を希望する場合、本様式により、上記宛先までメール（本票ファイルを添付）またはFAXでお申し込みください。

申込締切りは、2月26日（月）までです。

■会社名及び部署名

■取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）

①（代表者）\_\_\_\_\_

②\_\_\_\_\_

③\_\_\_\_\_

■テレビカメラ持込みの有無（該当するものに○をつけてください）

有      ・      無

■連絡先（代表者の連絡先）

※ご記入いただいた個人情報については、本案件に関するご連絡以外では使用しません。

# 「わが村は美しく —北海道」運動 とは？



## Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることを目指し、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援



【景観】  
地域の特色を活かし、生活と生産  
に根ざした景観形成活動

「景観」  
の形成

【人の交流】  
地域の魅力を高めるコミュニティ  
づくりに結びつく都市及び地域内  
外の人たちとの交流活動

活発な  
「人の交流」  
づくり

「地域特産物」  
のブランド化

【地域特産物】  
地域で生産される農林水産物及び  
それらを主として利用した加工品  
の生産販売活動

## 魅力ある活力に満ちた 北海道

- 参加しよう—中心となるのは、地域に住む人々
  - 広げよう—活動の輪を大きく、自由に
  - 伝えよう—北海道の「いいもの」を、もっと外へ
- 「地域の資源」を見つけよう  
地域の個性を競い合い高め合い  
地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

## 取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

### 第11回「わが村」運動 コンクール

地域住民の活動を支援する一環として、地域で活動する団体を対象にコンクールを開催しています

活動団体

現地調査  
優秀賞・奨励賞の選考

表彰式

大賞の選考

大賞表彰式

第10回コンクール  
大賞受賞団体

R5年度



北のなのはな会【安平町】

R6年度



ほんべつ豆まかナイト  
実行委員会【本別町】

### 多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 [https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/na/nou\\_sln/ud49g700000emhm.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/na/nou_sln/ud49g700000emhm.html)  
→活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信  
→活動団体への情報提供  
→活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌  
→「The JR Hokkaido」への掲載  
(JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR  
→地域イベントに参加し  
団体活動を紹介
- パネル展でPR  
(北洋銀行との連携)
- Facebook(フェイスブック)の取組  
→活動団体の最新情報を広く発信



JR車内誌



札幌大通でのパネル展

Facebookはこちらの  
QRコードからご覧頂けます。

